

令和6年度御浜町文化協会 研修講座

御浜町文化協会研修部会では、郷土史研究家の向井弘晏さんをお招きし下記のとおり研修講座を開催します。

申込は不要で、どなたでも受講できます。皆様のご参加をお待ちしております。

(1) 1月16日(木) 19:00～ 御浜町役場 3階 くろしおホール

泊観音と林松寺の玉芝和尚 講師:向井 弘晏(郷土史研究家)

大泊町の熊野古道・観音道入口から1km程登ると泊観音堂跡がある。泊観音は太平洋戦争前後まで、太地や新宮始め近郊近在から多くの人が大漁祈願や武運長久を祈って参詣し大変賑わった。しかし、泊観音は明治時代には荒れ果てていた。明治27年これを見かねた下市木村の林松寺20世玉芝貫明宗師(一応貫明大和尚)が朽ち果てたお堂を再建し熱心に布教したので多くの人々が参詣するようになった。境内に玉芝貫明宗師を中興の祖とし称えた顕彰碑が立つ。今回は玉芝貫明宗師と泊観音の関係を語る。

(2) 1月23日(木) 19:00～ 御浜町役場 3階 くろしおホール

熊野古道を辿る巡礼と善根宿 講師:向井 弘晏(郷土史研究家)

江戸時代、多くの巡礼者が熊野三山を目指して伊勢路を辿った。東北、九州を含む全国からの巡礼者が訪れ、少ない路銀を持ち徒歩でこの地を通った。旅の厳しさを語る巡礼者の墓碑が道端に佇む。巡礼者の中には、路銀を持たず自力で旅が続けられない者もあり、見かねた道沿いの有力者が自宅に無料で泊めた。この家を「善根宿」と言う。大泊町に当時「善根宿」があり、残された資料から巡礼者の姿を、また道中記や往来手形等から当時の巡礼と街道沿いの人との関りを語る。

お問い合わせ先:御浜町文化協会事務局(御浜町中央公民館)05979-2-3151